

様々な要望活動に尽力

JA 吉崎市共同乾燥調製施設

平成 26 年 4 月 17 日共乾施設竣工落成式が行われました。

この施設の整備に関して、山本県議は国とのパイプ役として、尽力されました。

米の高品質・高付加価値生産による産地強化を図るため、共同乾燥調製施設を再編統合・機能強化を実施し、実需者ニーズに応じた栽培の多様化、小ロット・多品目集荷と乾燥調製作業の省力化・効率化に対応した地域ブランド米の推進・販売及び焼酎用原料の供給体制強化を図るために、共同乾燥調製施設の完成が望まれていました。

平成 25 年 7 月～平成 26 年 3 月まで事業費 518,640 千円（※内補助対象事業費 490,148 千円）で進められたものです。

今後の事業効果として、取扱数量の拡大、施設管理費の低コスト化、高品質・高付加価値生産による産地強化（にこまる・つや姫等）、吉崎焼酎用加工米の供給体制強化で島外精米から島内精米が可能となるなど、効果が期待されています。

※補助金内訳

国 庫 : 245,074 千円

(平成 24 年補正本省繰り強い農業づくり交付金)

吉 岐 市 : 196,059 千円 (地域の元気臨時交付金)

JA 吉崎市 : 77,507 千円

吉崎高校テニスコート整備工事

吉崎高校から創立 100 周年（平成 21 年度）を契機として、県の教育環境整備課へテニスコート建設の要望があり、平成 22 年度に入ってから学校から近隣の吉崎市永田触の都市公園（今宮公園）を市より譲渡され、テニスコートを整備する計画案が出されました。

平成 22 年より、市は県の都市計画課と譲渡に係る財産処分や都市公園の廃止についての協議・手続きを進め、その後、県の平成 24 年度当初予算にテニスコート整備予算を計上されましたが、譲渡について境界が確定していないため、不可能であると判明。また、都市公園廃止についても、九州地方整備局との交渉で困難なことが判明。これを受け、市と県の協議において、譲渡はできないが県が市から借り受けてという形で整備、また、都市公園の解除も行わないことを確認して整備されました。平成 25 年 4 月 17 日には、落成記念式典が行われました。

この整備工事にあたり、山本県議は迅速に県・市の担当課とのパイプ役となりテニスコート整備の早期着工に向けて尽力されました。

テニスコート事業

テニスコート 4 面（オムニコート 2 面、クレーコート 2 面）
市がオムニコートの門横にトイレを整備（クレーコートについては、地元自治会等へ開放されています）

燃油高騰対策事業

近年、経済発展の著しい中国やインド等アジアを中心とした世界的な石油需要の増大や原油産出国における政治情勢の不安定化、投機資金の流入等を背景に、原油価格が世界的に高騰しており、また、円安によってもたらされた燃油価格や養殖用飼料の急騰によって、漁業、養殖業者が廃業にまで追い込まれるような現状となっています。

山本県議も、一般質問等で何度も燃油高騰対策について質問を繰り返してきました。そうした中で、県においては、省エネ型漁業への転換による経営体質強化のため、省エネを目的とした省エネ型エンジン、LED 集魚灯等の導入を推進するための、省エネ転換緊急対策、漁業者に対し、過疎債を活用して、独自の燃油費補助を行う市町を支援することにより市町と連携して漁業経営への影響を緩和するための、漁業用燃油高騰対策支援事業などが設けられています。

今後も、積極的に漁業、農業等、燃油高騰による影響がある産業に関して、県と市にむけて対策強化を訴えていくことに力を傾注していきます。

今後の吉崎の動き



吉崎市民病院の長崎県病院企業団加入について

平成 24 年より 3 年間、吉崎市民病院の企業団加入について、山本県議は長崎県病院企業団議員として、後押しをされてきました。その結果、長崎県病院企業団への加入の道筋が見えてきました。

病院企業団とは

長崎県と島原地域、五島地域及び対馬地域の市町が一体となって、病院を経営することにより、県民の健康な生活を確保することを目的として設立された地方自治法上の特別地方公共団体（一部事務組合）です。（職員の身分は地方公務員です）

1 県 5 市 1 町で現在は構成されています。

（長崎県・島原市・南島原市・雲仙市・五島市・新上五島町・対馬市）

病院企業団議会は、関係市町議会議員 9 名、県議会議員 2 名、県職員 3 名の計 14 名で構成されています。病院企業団の経営方針、重要な運営事項について、意見を述べる運営会議も設置されており、県及び関係市町の長で構成されています。

吉崎市の病院企業団加入までのスケジュール

平成 26 年 6 月 19 日	知事が吉崎市民病院の企業団加入について構成市町と協議を進める事に了承
平成 26 年 6 月議会	県議会（文教厚生委員会）に頭出し→構成市町と協議を進めたい。
平成 26 年 9 月議会	構成団体及び吉崎市議会の議決（規約の改正）
平成 26 年 11 月頃	総務省協議（規約の変更）→許可
平成 26 年 12 月議会	企業団議会で議決（設置等に関する条例の改正）
加入準備期間 3 か月間（平成 27 年 1 月～3 月）	
平成 27 年 4 月	吉崎市民病院が長崎県病院企業団へ加入

今後も、スムーズな企業団への加入へ向け、長崎県病院企業団議員としての役割を果たします。

質問から導かれる新しい変化

山本県議は、過去数回の一般質問において、「それぞれの地域には衰退や活性化の起因となるそれぞれの理由があり、その経緯もさまざまである。だからこそ、戦略や取り組みは県下一律のものではなく地域ごとの姿勢が必要である」との持論を常に展開してきました。平成 26 年 3 月 13 日の一般質問は、改めて地域ごとの強化を訴えました。これをうけて、知事の答弁は記事にあるように、地域づくりに特化した新しい課を設置する方針を述べものとなり、山本県議の考えが県庁の地域の力となる新しい取り組みを生んだこととなりました。

地域振興特化で新部署

新年度から個別に担当チーム

県議会の定例会議は 13 日、一般質問を統括し、3 人が登壇。中村法道知事は、地域づくりに特化した新しい課を 4 月 1 日付で設置する方針を明らかにした。地

域ごとに担当を分け、各振興局と連携を強化しながら、現地の実情に応じた有効な振興策を探る。山本啓介議員（自民・愛郷の会）が特に深刻な五島、対馬、吉崎の 3 振興局に関しては、現在各 2 人いる地域づくり担当の職員を増員、機能強化を図る。中村知事は「役割を強化し、それぞれの地域にある

県議会一般質問

・県新行政推進室による新しい課は、企画振興部地域振興課内にある「地域づくり班」・離島・半島振興班」などを構成する。事業単位で分けていたこれまでの班編成を見直し、「長崎」「対馬」など地域ごとに担当チームを組織。各地域の実情に応じた施策を打ち出す。本庁と振興局との窓口を明確化する狙いがあり、関連部局との業務調整も担う。

人口減少や産業疲弊などが特に深刻な五島、対馬、吉崎の 3 振興局に関しては、現在各 2 人いる地域づくり担当の職員を増員、機能強化を図る。中村知事は「役割を強化し、それぞれの地域にある具体的な課題の解決に取り組んでいかなければいけない」と述べた。（中島重

環境生活委員長就任

山本県議 1 期目役職

平成23年度

- 文教厚生委員会
- 離島半島地域振興特別委員会
- 県議会・県政改革特別委員会
- 長崎県病院企業団議員
- 自由民主党長崎県連青年部長
- 自由民主党長崎県連総務会副会長

平成24年度

- 総務委員会
- 離島半島地域振興特別委員会
- 広聴広報協議会
- 長崎県病院企業団議員
- 自由民主党長崎県連青年部長
- 自由民主党長崎県連政調会副会長

平成25年度

- 文教厚生委員会 **副委員長**
- 離島半島地域振興特別委員会
- 委員長**
- 広聴広報協議会
- 長崎県病院企業団議員
- 自由民主党長崎県連青年部長
- 自由民主党長崎県連政調会副会長

平成26年度

- 環境生活委員会 **委員長**
- 人口減少・雇用対策特別委員会
- 長崎県病院企業団議員
- 長崎県観光振興議員連盟監査
- 長崎県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟幹事
- 長崎県防衛議員連盟監査
- 自由民主党長崎県連政調会副会長



山本啓介県議は、平成26年6月10日開会の長崎県議会6月定例会月議会において、常任委員会の環境生活委員会委員長に就任しました。環境生活委員会は、県民生活部・環境部・土木部の交通局の所管事務、収用委員会の所管事務等を所管し、駅ターミナルやふ頭整備、港整備、諫早湾干拓、PM2.5対応など幅広い分野を審査します。

山本県議は、昨年1年間務めた離島半島地域振興特別委員会委員長につぐ、2度目の委員長就任であり、1期目の4年間ではこれに、文教厚生委員会副委員長も合わせると、大変重要な要職に就いております。今後の、県議会での更なる活躍が期待されています。

1 期目のあゆみ

長崎県議会議員として平成23年4月から、長崎県と壱岐市のパイプ役として、尽力されております。県議会において、現在まで4度の一般質問を行い、様々な質問を投げかけています。その項目についてお知らせします。一般質問の様子は、長崎県議会のホームページでご覧いただけます。http://www.nagasaki-pref.stream.jfit.co.jp/giin_result.php?GIINID=26734

平成23年度一般質問内容	平成24年度一般質問内容	平成25年度一般質問内容
<p>平成23年11月定例会月議会 【12月2日：一問一答】</p> <ol style="list-style-type: none"> 知事の政治姿勢について <ol style="list-style-type: none"> 離島の重要性と現状について 「しまは日本の宝」戦略について 離島の産業活性化について <ol style="list-style-type: none"> 観光振興について 第一次産業振興について 子育て支援について <ol style="list-style-type: none"> ココロねっこ運動のあり方について 教育・スポーツ振興について <ol style="list-style-type: none"> 教職員と地域のかかわりについて 離島におけるスポーツ振興について 交通安全施設について <ol style="list-style-type: none"> 地域における安心・安全確保について 消防団について <ol style="list-style-type: none"> 地域防災計画における消防団の位置づけについて 消防団活動の現状に対する評価について 原子力防災対策について <ol style="list-style-type: none"> 防災訓練の評価と今後の展開について 今後のUPZ30km圏内の自治体と九電や国との関わりについて 離島地域の避難のための環境整備について 	<p>平成24年8月定例会月議会 【9月14日：一問一答】</p> <ol style="list-style-type: none"> 離島医療について <ol style="list-style-type: none"> 離島の周産期医療について 二次離島の医療体制について 離島における公立高校のあり方について <ol style="list-style-type: none"> 特色ある学科とは 地域産業の活性化について <ol style="list-style-type: none"> 地域商店街の活性化について 長崎版EMECについて <ol style="list-style-type: none"> 漁業との調和ある海洋再生化エネルギーについて その他 <p>平成25年2月定例会月議会 【2月25日：一括質問】</p> <ol style="list-style-type: none"> 離島振興についての知事の認識 <ol style="list-style-type: none"> 離島振興の取り組みと認識 人口減少に歯止めをかける具体的なプラン 組織体制について 教育のあり方について <ol style="list-style-type: none"> 「体罰」等の認識について 教員の地域とのかかわりについて 離島の産業について <ol style="list-style-type: none"> 離島の漁業を守る取り組み 環境について <ol style="list-style-type: none"> 海洋資源の活用について 大気汚染について 	<p>平成25年9月定例会月議会 【9月19日：一括質問】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「人が輝く」について <ol style="list-style-type: none"> 人を育てること 産業が輝くについて <ol style="list-style-type: none"> 地場産業を磨くということ 「地域が輝く」について <ol style="list-style-type: none"> 地域コミュニティの現状 「アジア・国際戦略」について <ol style="list-style-type: none"> 東南アジア訪問の成果と今後の展開について <p>平成26年3月定例会月議会 【3月13日：一問一答】</p> <ol style="list-style-type: none"> 知事の政治姿勢について <ol style="list-style-type: none"> 2期目の考え方について 県庁の組織について 産業振興について <ol style="list-style-type: none"> 水産業の現状について 電力自由化について 県内の航空路について <ol style="list-style-type: none"> これからの空路について PM2.5について <ol style="list-style-type: none"> 現状と対策について 地域振興について <ol style="list-style-type: none"> 地域における支え合いとは スポーツツーリズムについて

常任委員会、特別委員会では様々な課題を実際に先進地の視察をしたり、県内の現状を把握するなど、審議を行っています。

文教厚生委員会視察

- H23.6.10 (諫早市)
- H23.6.13 (諫早市)
- H23.7.27 (大村市)
- H23.8.10 (長崎市・時津町・大村市・対馬市)
- H23.8.31~9.1 (佐世保市)
- H23.11.8~9 (五島市)
- H24.1.19 (長崎市・大村市)
- H24.1.30~2.1 (岐阜県・滋賀県)
- 離島半島地域振興特別委員会視察**
- H23.7.28~29 (対馬市)
- H23.12.20~21 (新上五島町・小値賀町)
- H24.2.7~9 (沖縄県)
- 県議会・県政改革特別委員会視察**
- H23.8.17~19 (神奈川県・東京都・千葉県)

総務委員会視察

- H24.5.15 (長崎市)
- H24.5.29~30 (長崎市・諫早市・雲仙市・島原市)
- H25.1.24~25 (熊本県)
- 離島半島地域振興特別委員会視察**
- H24.7.26~27 (対馬市)
- H24.8.20~22 (北海道札幌市・稚内市・利尻富士町)
- H25.1.29~30 (島原市・南島原市)
- 県議会・県政改革特別委員会視察**
- H24.7.18~20 (栃木県・東京都・新潟県)

文教厚生委員会視察

- H25.8.5~7 (京都府・秋田県)
- H25.9.4 (雲仙市・南島原市)
- H26.2.18~19 (時津町・大村市・島原市・諫早市)
- H26.4.21 (諫早市)
- 離島半島地域振興特別委員会視察**
- H25.11.18~19 (吉崎市・西海市)
- H26.2.12~15 (和歌山県)

